



平成31年4月27日

補習校だより

No.1 文責 澤邊正人

ゆっくりと、学校が始まりました



ニコニコ顔の子どもたちが久しぶりに学校に戻ってきて、今日から平成31年度が始まりました。3校舎合わせて、新たに小学部1年生203名、中学部1年生69名、日本語科1年生20名、高等部1年生14名と編入生を含み、今年度は全校児童・生徒数1251名でスタートしました。

今日は各校舎で入学式を行い、「朝、出会った人に自分から元気にあいさつをしましょう。」と「休まないで補習校には、毎週登校しましょう。」という二つのお願いを中心に話をしました。「あいさつ」はコミュニケーションの基本であるとともに、あいさつすることにより他の人と心がつながり、たくさんの友だちを作ることができます。また、「補習校を休まない」とお伝えしたのは、一つの言語でさえ習得するのは大変なのに、二つの言語の習得するためには、まず学校に登校して、授業をしっかりと受けてほしいという思いからです。

子どもたちは自ら選択して、この英国で生活している訳ではありません。平日は現地校、土曜日は補習校と二つの学校に通い、二つの学校の課題をこなさなければならない、そのストレスは相当に大変なものであることは容易に想像がつかます。

けれども、せっかく補習校に通ってくるのですから、すべての子どもたちに元気と確かな日本語力(国語力)の定着を図ってもらいたいと思っています。日本語力(国語力)は、日常生活の中で無意識に使えるようになって初めて、身近なものとして感じることができます。その力をつけてほしいと思います。その定着に向け、教職員が一丸となって努力してまいります。

ぜひ、ご家庭でも日本語環境を整えてください。ご家庭の協力があるのが補習校です。子どもたちの健やかな成長のために、今年度もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昨年度も一度紹介しましたが、教育界でよく使われている言葉を、年度の最初にあたりもう一度記載させていただきます。

<子育て四訓>

1. 乳児はしっかり手を離すな
2. 幼児は肌を離せ、手を離すな
3. 少年は手を離せ、目を離すな
4. 青年は目を離せ、心を離すな



お子様は、一年間にびっくりするほど伸びます。しかしながら、時として心が不安定になることも必ずあります。そんなときは、「保護者の方に、こちらを向いてほしい」というメッセージを送っているときかも知れません。学校と家庭が連携して、お子様の可能性をどんどん伸ばしていける一年間になることを切に願います。



新任の先生方を紹介します、ご協力をよろしくお願いいたします。



《アクトン校舎》	平松 珠美 (ひらまつ たまみ) 講師 土屋 明日香 (つちや あすか) 講師
《ブレント校舎》	小島 貴久香 (こばたけ きくか) 講師
《クロイドン校舎》	亀井 美穂子 (かめい みほこ) 講師